

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
東京盃	2018/10/10	JpnII	大井	1200m	ミドルペース	良	展開

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	キャンドルグラス	牡4	56	御神本	サウスヴィグラス	ミスプロ系	サンデーサイレンス	サンデー系	D	A	B	C	C	C		
2	2	ゴードー	牡10	56	佐藤友	プレシヤスカフェ	ノーザン系	コノミテイオー	ザテトラーク系	D	B	C	C	C	C		
	3	テオーヘリオス	牡6	56	浜中	Fusaichi Pegasus	ミスプロ系	Afternoon Deelites	ダマスカス系	B	C	B	B	B	B	△3	
3	4	キタサンミカツキ	牡8	57	森	キングヘイロー	ノーザン系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	B	A	A	B	A	B	○	
	5	マテラスカイ	牡4	56	武豊	Speightstown	ミスプロ系	Rahy	ナスルーラ系	A	B	B	A	A	B	◎	
4	6	エイシバランサー	牡6	56	下原	Ghostzapper	ノーザン系	Mizzen Mast	ナスルーラ系	C	A	B	B	B	B	×1	
	7	ネロ	牡7	56	戸崎	ヨハネスブルグ	ノーザン系	サンデーサイレンス	サンデー系	C	B	B	B	B	B	▲	
5	8	エイシヴァラー	牡7	56	坂井	サウスヴィグラス	ミスプロ系	シンボリクリスエス	ロベルト系	C	C	C	C	C	C		
	9	コスモブラシデス	牡4	56	東原	マツリダゴッホ	サンデー系	シャンハイ	ミスプロ系	D	D	D	D	D	D		
6	10	サクセスエナジー	牡4	57	松山	キンシャサノキセキ	サンデー系	ジャングルポケット	ナスルーラ系	B	B	B	B	B	B	△2	
	11	マイネルルークス	牡8	56	今野	デュランダル	サンデー系	End Sweep	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
7	12	コバノリスボン	牡5	56	真島	ゴールドアリュール	サンデー系	アグネスデジタル	ミスプロ系	D	B	B	C	C	B	×2	
	13	サクラレグナム	牡9	56	赤岡	サクラプレジデント	サンデー系	ブライアンスタイム	ロベルト系	D	A	C	C	C	C		
8	14	グレイスフルリーブ	牡8	57	ルメール	ゴールドアリュール	サンデー系	Seeking the Gold	ミスプロ系	B	A	B	B	B	B	△1	
	15	タッチライフ	牝4	54	増田	アツミラーレ	サンデー系	アフリート	ミスプロ系	D	C	C	D	D	D		

隊列図	見解	ラップタイム
マテラ グレイ サクセ ネロ テオー エイヴ エイバ キャン タッチ キタサ ゴーデ サクラ コバノ マイネ コスモ	<p>今年の東京盃の中心的存在はマテラスカイだろう。近5走のうちドバイを除けば、破竹の4連勝。特に圧巻だったのは前走プロキオンステークス。時計の出やすい馬場だったとはいえ、前半600m通過33.5秒で飛ばしながら最後まで脚色衰えずの圧勝劇。G1で善戦していたインカンテーションに4馬身差をつけ、ダートスプリント界に新星誕生を思わせる勝ちっぷりだった。能力的にアタマひとつ抜けた存在なのは誰が見ても明らか。問題は初コース、初ナイターでその力を発揮できるかどうかだろう。それでは予想にいきましょう。</p> <p>本命は<b>マテラスカイ</b>の能力を信頼する。血統的に不安がないわけではないが、今回は前走以上に楽な展開に持ち込めそう。同型のネロは待機策を示唆している上に本馬と同じ森厩舎。ネロがマテラスカイに執拗に絡む可能性は低く、スタートと同時にノープレッシャーのまま逃げられるのではないかと。(以下省略)</p>	回顧 次走狙い馬

ミドルペース

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	キャンドルグラス		前走アフター5スター賞では勝ち馬キタサンミカヅキに完敗。ここに来て力をメキメキとつけているが、ダートグレードで上位争いするにはもうワンパンチ欲しい。		
2	2	ゴードイー		4走前のアレクツールズ賞のようにすんなり競馬が好走条件。今回は同型に強力なマテラスカイ。揉まれて何も出来ずに終わるだろう。		
	3	デーオーヘリオス	△3	揉まれやすい内目の枠を引いたのが割引も、前走北海道スプリントカップは馬群の間からしぶとく伸びており、以前よりも精神的にタフになっている。相手は一段と強くなるが、マテラスカイを除けば、そこまで差はないだろう。		
3	4	キタサンミカヅキ	○	大井1200mでは【3.1.0.1】の安定感。唯一、馬券圏外に敗れたのは昨年のJBCスプリントで、それも勝ち馬ニシケンモノノフから0.1秒差の5着。この条件では常に安定したパフォーマンスを発揮しており、今回も直線で確実に伸びてくるだろう。近2走のレースぶりを見ると、鞍上の森騎手との相性が抜		
	5	マテラスカイ	◎	血統的に不安がないわけではないが、今回は前走以上に楽な展開に持ち込めそう。同型のネロは待機策を示唆している上に本馬と同じ森厩舎。ネロがマテラスカイに執拗に絡む可能性は低く、スタートと同時にノープレッシャーのまま逃げられるのではないかと。		
4	6	エイシバランサー	×1	前走サマーチャンピオンではブルミラコロ、ヨシオを撃破。血統のイメージほど一本調子なタイプではなく、控える競馬もできる馬。マテラスカイが後続を引き離し、キタサンミカヅキが差してくる展開になれば、本馬も上位進出が狙えるのではないかと。		
	7	ネロ	▲	展開を考えると、マテラスカイについていくので厳しくなりそうだが、今回は待機策を示唆しているのが不気味。昨年のJBCスプリント、18年東京スプリントは番手から結果を出しており、逃げなければダメというタイプではない。サクセスエナジー、グレイスフルリープと比べるとスプリント適性は一枚		
5	8	エイシヴァラー		4走前の黒船賞は馬場も展開もハマった印象。南関東所属時代は大井1200mで全く結果が出ておらず、能力はもちろんコース適性にも疑問。		
	9	コスモブラシデス		近走の負けっぷりを見るとC3でも通用するか怪しいレベル。ダート適性がない。		
6	10	サクセスエナジー	△2	能力的にグレイスフルリープと互角も、1200m経験が浅い分、評価を下げた。前走プロキオンステークスは馬場が速過ぎたのもあったが、追走するのに精いっぱいだった。1200mのスピードに対応できるか少し不安はある。		
	11	マイネルルークス		今年に入ってからすでに16戦を消化。使えるレースにただ使っているだけで出走賞金目当てだろう。		
7	12	コパノリスボン	×2	前走マイルグランプリトライアルは一度しか経験したことがないコーナー4回のコースで力を発揮できずの敗戦。6走前のなにわステークスでは今回、上位人気に推されているサクセスエナジーから0.4秒差の競馬。全くのノーチャンスではないだろう。		
	13	サクラレグナム		前走建依別賞で待望の重賞初制覇。老いてなお盛んだが、今年のウインタースプリントではキャンドルグラスに完敗。ダートグレードではさすがに荷が重い。		
8	14	グレイスフルリープ	△1	今年の東京スプリント勝ち馬。当時はすんなりと逃げれたことが勝因も、番手でも力を発揮できるタイプ。被されない外目の枠を引けたのは大きい。		
	15	タッチライフ		2走前にB2を勝ち上がったばかりの馬。ダートグレードでは荷が重い。		